

令和6年度図書館そだて会議（北房図書館） 議事録

日時：令和7年2月5日

10時～10時45分

一般参加者：7人、図書館：2人、振興局：2人

1. 開会(畦崎館長)

日頃より図書館活動にご協力いただきありがとうございます。本を読む場だけではなく、さまざまな活動ができる場としての図書館であるようにしていきたいと思います。

2. 今年度の北房図書館の取り組みについて

図書館から報告

- ・今年度の新しい取り組みとしては、黙読会を開催した。黙読会は文字通り読みたい本をただひたすら黙って読む会。参加者は今のところ少ないが、参加者からは「非常に集中して読める」と好評で、今後も定期的を開催していきたい会。
- ・キッズスペースの壁面づくりを子どもたちに参加してもらい、作る時、飾ったものを見に来る時、と来館が増えていると感じる。
- ・定例行事としては読み聞かせの会が月に2回開催されているが、子どもさんの参加が少ないのが悩み。参加がなくても読み聞かせをしているという姿勢を見せ続けることが大事だと思っている。
- ・免許の返納をしたから、目が悪くなったから、といった理由で図書館に来られなくなった方が数名いらっしゃる。自動車文庫の駐車場まで行くことが出来ない方もいる。そのような方々にどうにかして本をお届けできないかという事も今後の真庭市全体で考えていく必要があるのではないか。

3. 北房図書館の来年度の取り組みについて、意見交換

- ・興味のある分野は決まっていて、その中で読みたい本は北房図書館には一部しかない。真庭市内の例えば中央図書館などの本を置いてあるのは助かる。子どもは絵本を見て選びたいので、他の館の絵本があれば選択肢が増える。各図書館の特色ある本を実際に行かなくても見て選べるのは良い。
- ・図書館を利用した事がない人にも何かができる場所だと知ってもらい、図書館を利用できたら良い。
- ・図書館の発案ではなく、利用者の発案した事を図書館の手助けで実行できるのはありがたい。地域の活性化にも繋がるのではないか。
- ・図書館がないと生きていけない。図書館でさまざまなイベントをしているようだが、基本は読みたい本を適切な時に読む事ができるようにしてくれるのが、図書館の役割。パソコンで検索して本の予約もできるが、司書に対面で話しながら相談すると、より

深い本の検索ができる。

- ・毎週土曜日「あそび」の場として北房文化センターを利用する事を来年度計画している。図書館も「あそび」に巻き込んで子どもの居場所づくりをしたい。
- ・将来は紙の媒体からデータへ移行していくかもしれないが、文学に触れること、読む事、書くことは人間の基本なので、子どもから高齢者までもっと本を読んで欲しい。
- ・子どもたちは図書館に一人では来ることができないので、保護者に連れてきてもらわないといけない。仕事をしている人はなかなか図書館のイベントには参加できない。仕事をしていなくても忙しい中図書館に来ると、表紙が展示されたりおすすめの言葉が書かれた本を見て、短時間で読みたい本を見つける事ができる。時間がない時には司書に相談し、的確な本を選んでくれる。孫たちも良く本を読み、図書館に育ててもらったようなものだ。

4. そのほか

お知らせなど

2/23「英雄墓地に眠る日本人」、3/8「第4回北房平和の集い」

2/21.22「第2回西の明日香村北房フォーラム」の案内

【参加者意見】・古代米の田んぼを引き続き継続して作って欲しい

- ・畦田姉弟がプログラミングで優秀賞を取った作品をなんとか図書館で展示したい

5. 閉会（杉本）

本日出た意見を参考に来年度の北房図書館を運営していきたい。よろしく願います。

以上